

## 4985 ママチャリ日本縦断の旅：萩城跡と城下町 186

心臓破りの<sup>のぼ</sup>り道が続いただけに、光景も違う萩城下町。やっとの事で到着した状況。

ギャップの大きさがあって、輝いて見えた。また、久楽なりの達成感。

萩市は明治維新胎動の地であり、歴史と**人物像**に興味があって思いをはせるひと時になった。

宿も運よくゲット。どんな地産の食べ物に出会えるのかも楽しみ。



日本書紀にも登場、1604年（慶長9年）居城を広島から萩に移した毛利輝元が、三角州に

城下町を建設し、**260年**にわたって、毛利氏36万石の城下町だった。

「毛利元就の**3本の矢の教え**」という逸話が、記憶に残っている。

1600年が関ヶ原の戦い、1603年徳川幕府。**保存**がどの程度されているのかにも興味。

こうした状況下、バスでなく、ママチャリがあるのは好都合。有難い。

夕方なのか、人通りが少ないので、画像記録には、チャンス。

垣間見える**歴史の雰囲気**を楽しんだ。心が喜んだのは言うまでもない。疲れが吹っ飛んだ。

まず、富士山のように見えた光景に的を絞り、また、白壁も大好き。素晴らしい。

